

・・・新刊本紹介・・・

請求記号	本の名前	書いた人	出版者
210-7-1	楽しい古墳案内	松木武彦	平凡社
281-3-1	世界を「あっ!」と言わせた日本人 今こそ知っておきたい	黄文雄	海竜社
311-3-1	学校では絶対に教えてくれない僕たちの国家	三橋貴明	TAC株式会社出版事業部
312-7-1	日本よ、世界の真ん中で咲き誇れ	安倍晋三 百田尚樹	ワック
324-7-1	図解公益・一般法人の運営・会計・税務	朝日税理士法人	中央経済社
332-7-1	検証・アベノミクスとTPP	三橋貴明 関岡英之	広済堂出版
339-7-1	生命保険の嘘 「安心料」はまやかした	後田亨 大江英樹	小学館
367-7-1	嫁姑が幸せになれる100の知恵	大原敬子	PHP研究所
475-7-1	ときめくコケ図鑑	田中美穂 伊沢正名	山と溪谷社
493-7-1	運命の子トリンミー	松永正訓	小学館
493-7-2	葉なし、自分で治すパニック障害	森下克也	KADOKAWA
498-7-1	「年寄り半日仕事」のすすめ	三浦雄一郎 三浦豪太	広済堂出版
498-7-2	8時間睡眠のウソ。日本人の眠り、8つの新常識	三島和夫 川端裕人	日経BP社
507-7-1	すばらしき特殊特許の世界	稲森謙太郎	太田出版
519-7-1	越境する大気汚染 中国のPM2.5ショック	島山史郎	PHP研究所
539-7-1	池上彰が読む小泉元首相の「原発ゼロ」宣言	池上彰	径書房
594-7-1	かわいい毎日のキルト	こうの早苗	日本ヴォーグ社
596-7-1	ぶし味噌レシピで「腸内リセット」	松生恒夫 タカハシユキ	グラフィック社
597-7-1	毎日がときめく片づけの魔法	近藤麻理恵	サンマーク出版
598-7-1	35才からの妊娠・出産・育児	郡山智 郡山純子	ベネッセコーポレーション
598-7-2	双子&三つ子ママの妊娠・出産・育児	高橋恒夫 関和男	ベネッセコーポレーション
625-7-1	庭先でつくるトロピカルフルーツ 小さく育てておいしい34種	米本仁巳	農山漁村文化協会
725-7-1	だまし絵×立体がすごい! 3Dアートの描き方	おまけたらふく舎	誠文堂新光社
728-7-1	知識ゼロからの書道あそび文字入門	武田双雲	幻冬舎
763-7-1	今すぐ始めるウクレレ入門 [2014]	自由現代社編集部	自由現代社
784-7-1	氷上の闘う女神たち アイスホッケー女子日本代表の軌跡	神津伸子	双葉社
793-7-1	花のアウトラインとアクセントライン	永塚慎一	誠文堂新光社
910-7-1	直木賞物語	川口則弘	バジリコ
910-7-2	いくつになっても 陽だまりの家	渡辺淳一	講談社
914-7-1	不良になりました。	川上弘美 門馬則雄	平凡社
914-7-2	女子漂流 うさぎとしをんのないしょのはなし	中村うさぎ 三浦しをん	毎日新聞社
933-7-1	写字室の旅	ポール・オースター	新潮社
B498-7-1	リセット禁煙 「吸いたい気持ち」がスッキリ消える	磯村毅	PHP研究所
F-7-1	天切り松闇がたり 第5巻 ライムライト	浅田次郎	集英社
F-7-2	首折り男のための協奏曲	伊坂幸太郎	新潮社
F-7-3	アトミック・ボックス	池沢夏樹	毎日新聞社
F-7-4	左目に映る星	奥田亜希子	集英社
F-7-5	教授と少女と錬金術師	金城孝祐	集英社
F-7-6	ぎやまん物語	北原亜以子	文芸春秋
F-7-7	連写	今野敏	朝日新聞出版
F-7-8	春、戻る	瀬尾まいこ	集英社
F-7-9	首都崩壊	高嶋哲夫	幻冬舎
F-7-10	内通者	堂場瞬一	朝日新聞出版
F-7-11	波形の声	長岡弘樹	徳間書店
F-7-12	山桜記	葉室麟	文芸春秋
F-7-13	翔ぶ少女	原田マハ	ポプラ社
F-7-14	相も変わらずきりぎり舞い	諸田玲子	光文社
F-7-15	一千兆円の身代金	八木圭一	宝島社
F-7-16	約束の海	山崎豊子	新潮社
F-7-17	大江戸恐竜伝 第5巻	夢枕獏	小学館
F-7-18	怒り 上・下	吉田修一	中央公論新社
S709-7-1	隠岐の文化財 30	隠岐の島町教育委員会 ほか	隠岐の島町教育委員会 ほか

紹介しているのは2月に入った新刊の一部です。他にもたくさん入りましたのでチェックしてみてください。

図書館にない本が読みたいときには、リクエストをしてください。他の図書館から借りるか、購入してお届けします。

読まんかね

隠岐の島町図書館

2014.3 Vol.106

〒685-0014
島根県隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二、17-1
tel: 08512-2-2341 fax: 08512-2-9198
http://www.town.okinoshima.shimane.jp/toshoan/
e-mail: s-tosho@mx.miracle.ne.jp



・蔵書点検の結果・

2月に一週間ほど休館し、蔵書点検を行いました。点検の結果、今年度は住宅地図をはじめ、26点の資料が行方不明になっていました。万が一、貸出手続きを忘れて持ち帰ってしまった資料がありましたら、図書館までお返しく下さい。

《不明資料内訳》

一般図書	17冊
児童図書	1冊
郷土資料	3冊
雑誌	4冊
DVD	1点
計	26点



また、点検期間中には、多くのボランティアさんにお手伝いいただき、本と棚の清掃を行いました。本当にありがとうございました。

・子ども向けイベント紹介・



・ブックトークの会・

「つぎ何を読もうかな～」と考えている子や、おもしろい本が読みたい子はいらっしゃい! 小学校低・中学年の子どもに、職員おすすめの児童書を紹介します。気になった本を読んでみてね。
毎月第1土曜日に開催しています。



4月の会で紹介する本のテーマは「絵をかこう!」です。

日時 4月5日(土) 14:00~
場所 図書館研修室

いずれも申し込みは
いりません。
お気軽にどうぞ!

はじめてのえほん

0歳~2歳くらいの赤ちゃん向けに、絵本やかんたんな手遊びで楽しめます。
毎週日曜 10:30~

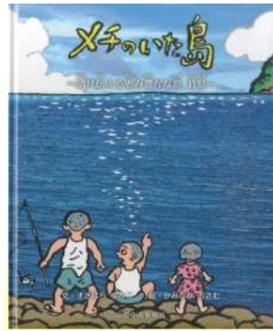
おはなしのへや

幼児・児童を対象にした絵本の読み聞かせです。ボランティアの方が読んでくれます。

毎週土曜 15:00~



『メチのいた島』リニューアル!!



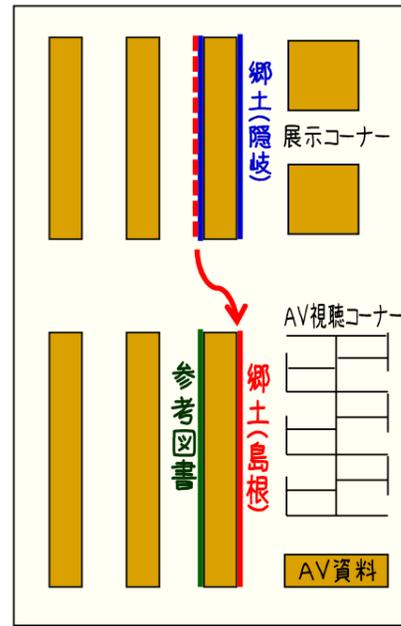
『メチのいた島』
すぎはらゆみこ・文
かみなかおさむ・絵
山陰中央新報社

昨年、五箇の杉原由美子さんが自費出版された『メチのいた島』が、新しく2月に山陰中央新報社より出版されました。メチ(アシカ)のことや竹島の歴史など、さらに詳しい解説が追加されています。町内の書店でも販売されていますので、ぜひ手に取ってご覧ください。図書館では郷土資料コーナーにあります。



本場所が変わりました

郷土資料のうち、島根県の資料をAV視聴コーナー横の棚に移しました。以前の島根県の棚には隠岐の資料を置いています。分かりにくい時は職員に聞いてください。



隠岐アゴラで、ビブリオバトル!!

隠岐アゴラではビブリオバトルを開催しています。ビブリオバトルとは、参加者が本の魅力を紹介しあう書評ゲームです。本が好きな方、イベント好きな方、ぜひご参加ください。毎月第2土曜日に行っています。3月のビブリオバトルは、“出会い・別れ”というテーマでした。紹介された本は以下の2冊です。

- ・『生物と無生物のあいだ』福岡伸一 著
- ・『茶の湯事件簿』火坂雅志 著



次回
4月12日(土) 14:30~
隠岐の島町図書館研修室
テーマ「始まり」

開館日カレンダー

色の日 は 休館日

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

定例行事

- はじめてのえほん
毎週日曜日 10:30~
- おはなしのへや
毎週土曜日 15:00~
- ブックトークの会
4月5日(土)14:00~

・・・ 展示コーナー & 特集コーナー ・・・

★展示コーナー

《 黒曜石展 》

隠岐で採れた黒曜石の原石や、遺跡から発掘された矢じりなどの出土品、黒曜石で作られた工芸品などを展示しています。この機会にぜひご覧ください。

期間：3月30日(日)まで
場所：展示コーナー



★特集コーナー

《 詩 ~広がる言葉の世界~ 》

先日104歳で亡くなられたまど・みちおさんの詩集をはじめ、いろんな詩の本を並べています。やさしい言葉の奥に広がる世界を、感じてみてください。

★えほんコーナー

《 がっこう 》

今年は学校で何をがんばったかな?勉強したり、運動したり、友だちと遊んだり...いろんな学校の本、見てみよう!



・・・ 2月の利用状況報告 ・・・

	入館者数	貸出人数	貸出冊数	登録者数
25年度	3,506	1,250	6,641	20
24年度	3,534	1,240	6,578	19
比較	▲28	10	63	1

・・・ 2月によく読まれた本 ベスト10 ・・・

- | | | |
|----------------------|-------------------|--------|
| 1位 永遠の0 | 百田尚樹 | 講談社 |
| 1位 ちょっと具合のよくないときのごはん | 岩崎啓子 | 日東書院本社 |
| 3位 忍び秘伝 | 乾緑郎 | 朝日新聞出版 |
| 3位 海賊と呼ばれた男 下 | 百田尚樹 | 講談社 |
| 3位 ホテルロイヤル | 桜木紫乃 | 集英社 |
| 3位 祈りの幕が下りる時 | 東野圭吾 | 講談社 |
| 3位 穴 | 小山田浩子 | 新潮社 |
| 3位 注文の多い注文書 | 小川洋子、クラフト・エヴィング商会 | 筑摩書房 |
| 9位 生命保険の嘘 | 後田亨 大江英樹 | 小学館 |
| 9位 いくつになっても 陽だまりの家 | 渡辺淳一 | 講談社 |

・・・ 図書館職員オススメの一冊 ・・・

『 職業治験 』 ハ雲星次 著 幻冬舎



今月は藤原が
紹介します!

「治験」って知ってますか?治験とは、新薬の開発過程で行う人への臨床試験のことで、データを取るために開発中の薬を飲んで血を採ることでお金をもらえるのですが、ちょっと危険なアルバイトの一つとして聞いたことがある人もいるのではないでしょうか?

就職して2か月で仕事を辞めた著者が、目を付けたのがその治験でした。著者が初めて参加した治験は、病院に20日入院し、おいしいご飯を食べて寝て、ネットし放題マンガ読み放題で、52万円という厚待遇でした。「おいしい仕事」を見つけたと思った著者はずるずると「プロ治験」の道にハマっていきます。稼ぐために裏ルートの治験や海外での治験にまで手をだし、ひどい病院や、ずさんな事前検査などの裏話もいろいろ出てきます。

怖いもの見たさで読み始めましたが、本自体は軽い語り口で読みやすく面白かったです。が、最終章「プロ治験者の末路」あたりは他人事ながら心配になりました。

「治験ってちょっと面白そう?」と感じたあなた。プロ治験に向いている人は「若くて健康に自信があり」「怠け者」で「常識を失うこと」だそうですよ。